

## ■ 『研究年報』規約

### 神奈川大学大学院経営学研究科『研究年報』規約

2003年12月17日 改 定

- 第一条 名 称 本研究誌の名称は神奈川大学大学院経営学研究科『研究年報』とする。
- 第二条 目 的 本研究誌は多様な題材の研究成果を求め、その発展の場を設けることによって各関係者の議論の喚起、および研究の充実を図り、広く学術の発展に貢献することを目的とする。
- 第三条 発 行 本研究誌は原則として年一回の発行とする。
- 第四条 運 営 本研究誌の運営および企画編集は、『研究年報』編集委員会が顧問と相談のうえ、行なうものとする。
- 第五条 組 織 『研究年報』編集委員会は経営学研究科大学院生による編集委員長、副委員長、書記からなり、編集委員長を代表とする。編集委員長は博士後期課程のものから選出するのが望ましい。なお、編集委員は任期を一年とするが、その再任を妨げない。
- 第六条 顧 問 顧問は原則として、その年度の大学院研究科委員長とする。
- 第七条 投稿規定
1. 投稿資格  
投稿資格者は、原則として神奈川大学大学院経営学研究科に籍をおく大学院生、および研究生とする。籍を離れた者でも、学術研究に携わっている場合は有資格者に準ずる。  
また、その他の執筆希望者および執筆依頼については『研究年報』編集委員会がこれを審議する。
  2. 原稿の内容  
経営学ならびに関連する領域の研究成果を著したもので、論文・研究ノート・書評・資料紹介などとする。なお他の刊行物に未発表のものであること。また投稿に関する一切の責任は、校正等を含めて執筆者本人が負うものとする。
  3. 指導教員の承認  
論文投稿に際して、原則として指導教員の承認を必要とするが、特別な事情がある場合には、『研究年報』編集委員会がこれを審議する。
  4. 原稿の掲載  
提出された原稿に関する選考は『研究年報』編集委員会がこれを審議する。
  5. 原稿の体裁
    - (1) 表紙の記載事項  
〔1枚目は表紙とし、ここには以下のすべての情報が含まれているよう配慮する〕
      - ①日本語タイトル
      - ②英文タイトル
      - ③日本語執筆者名
      - ④英文執筆者名
      - ⑤学籍番号

⑥所属

⑦連絡先郵便番号と住所

⑧連絡先電話番号

⑨連絡先ファックス番号

⑩電子メールアドレス

⑪キーワード（5語以内）

〔留学生等帰省予定者は、上記に併せて以下も記載する〕

⑫帰省予定日とその期間

⑬帰省先住所

⑭帰省先電話番号

〔2枚目以降本文とする〕

(2) 原稿枚数

A4用紙を用い、1枚あたりの字数を1200字（1行40文字×30行）とし、横書き、常用漢字、現代仮名づかいとする。すべてのページに通し番号をふる。原稿枚数の上限は、上記文字数のA4用紙で30枚を目安とする。なお、修士論文要旨の字数は2600字以内とする。

(3) 注および参考文献

本文中に、注を右肩付け数字で指示する。ただし、原則として脚注は不可とする。注の内容は本文末尾に一括して文末注とする。引用文献および参考文献の表記は、日本語文献（作者の五十音順）を先にし、その後に外国語文献（著者のアルファベット順）を付ける。

(4) 図表の取り扱い

図表は本文とは別に作成し、本文中に挿入箇所を明記する。出典を明記し、必要な場合には著作権者の了解を得る。

(5) 原稿の提出方法

原稿は、プリントアウトされたもの一部と電子媒体を提出する。電子媒体には執筆者名を必ず記入する。提出先は、教務課のレポート・ボックスとし、締め切り日を厳守する。

6. その他

その他の細目は、『研究年報』編集委員会がこれを審議する。

以上